

ルームエアコン 据付説明書

9322865069-01



このエアコンは、地球のオゾン層を破壊しない、
冷媒R32を使用しています。



家庭用エアコン(冷媒R32)にはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

※本製品は、エアコンとリモコンの信号の送受信をBluetooth®で行っています。試運転をする前に、必ずリモコンの登録設定を行ってください。(詳しくは、別紙の工事注意文書または取扱説明書をご覧ください。)

据付工事後に、必ず確認してください

確認した項目の□の中に印を記入してください。

- 電源は専用回路です
- 室外ユニットはがたつきがなく設置されています
- 室内ユニットは水平に設置されています
- 電源コードの中間接続と長線コードの使用、タコ足配線は行っていません
- 電源コンセントと電源プラグにがたつきはありません
- 端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内ユニットと室外ユニットを合わせました
- 接続ケーブルの中間接続を行っていません
- アースの接続は確実です
- サービスバルブ(液側・ガス側)は全開です
- ドレンホースの接続は確実です
- 水を流してドレン排水管が正常であることを確認しました
- 断熱は確実に行いました(接続配管)
- 壁穴部の隙間は完全にふさぎました
- 室内ユニットの吸込口、吹出口は障害物でふさがっていない
- ダストボックス、エアフィルター、スマートクリーンユニットは正しく取り付けました
- 吸込グリルはきちんと閉じました
- 試運転を行いました
- リモコンの設定をしました
- リモコンで操作し、エラー・異音なく冷房・暖房運転が出来ることを確認しました
- フィルタクリーン機能はエラー、異音などなく動作しました
- 取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明しました
- この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくように依頼しました

確認日	
工事(施工)会社名、確認者、電話番号	
機種名	

据付場所の選定

●お客様の同意を得て据付けてください。
●調理場など油煙のある場所や、工場などで油を使用している場所、潮風が直接当たる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、腐食性ガスの発生する場所、ちり、ホコリの多い場所、動物の尿がかかる場所、アソモニアが発生したりする場所への設置は避けてください。
●下記の条件が満たせる場所を選定してください。

室内ユニット
●据付板の周囲に右図の間隔が取れる所。
●室内ユニットの重さに耐え、共振音の出ない丈夫な壁面。
●吸込口、吹出口付近に障害物がなく、冷気・暖気が部屋全体に行きわたる所。
●室内ユニットの吹出口が、火災警報器から1.5m以上離れた所。
●近くに熱源や蒸気の発生、可燃性ガスの漏れるおそれのない所。
●直射日光の当たらない所。
●ドレン排水がしやすい所。
●ダストボックス、エアフィルター、スマートクリーンユニットが着脱できる所。
●電源(専用回路)に近い所。(電源プラグが届く所)
●電源は必ず専用回路を使用してください。他の電源回路を使うとテレビ、ラジオなどノイズが発生するおそれがあります。
●電波の干渉による影響を防ぐため、次の機器からはできるだけ離してください。
●電子レンジ、無線LAN機器、Bluetooth® 対応機器、その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコンの周辺機器など。
●室内ユニットと電源コードが、テレビ、ラジオおよびそのアンテナ線よりも1m以上離れている所。
●移動体識別用の構内及び特定小電力無線局が運用されていないこと。

室外ユニット
●室外ユニットの周囲に右図の間隔が取れる所。
●室外ユニットの周囲に開放された場所が選べず、やむを得ず壁などの障害がある場所に据え付ける場合、冷暖房能力および消費電力が悪化する場合があります。
●雨や直射日光が当たる所。
●近くに熱源の発生、可燃性ガスの漏れ、またはたまるおそれのない所。
●蒸気、油煙、ちり、ホコリの排出される排気口、換気口などより離れている所。
●テレビ、ラジオ、無線機などのアンテナより3m以上離れている所。
●強い風が直接吹きつけない所。
●暖房時のドレン水が排水されても支障のない所。
●室外ユニット吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならない所。

●特に隣家との境界線では、公害対策基準法第9条の規定に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条例などを満足するように据え付けてください。
●据え付けが規制されていない所。
●地区によっては、屋根などの据え付けが規制されている場合があります。

リモコン
●カーテン、壁などの障害物でふさがれない所。
●直射日光の当たらない所や、暖房器具などの熱の影響のない所。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- お使いになる人や他の人の危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異なることを確認するとともに、取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。また、この据付説明書は取扱説明書、保証書とともに、お客様で保管していただくことを依頼してください。
- 警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあるもの。
- 注意 取り扱いを誤った場合、軽傷を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがあるもの。
- 絵表示の意味は この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

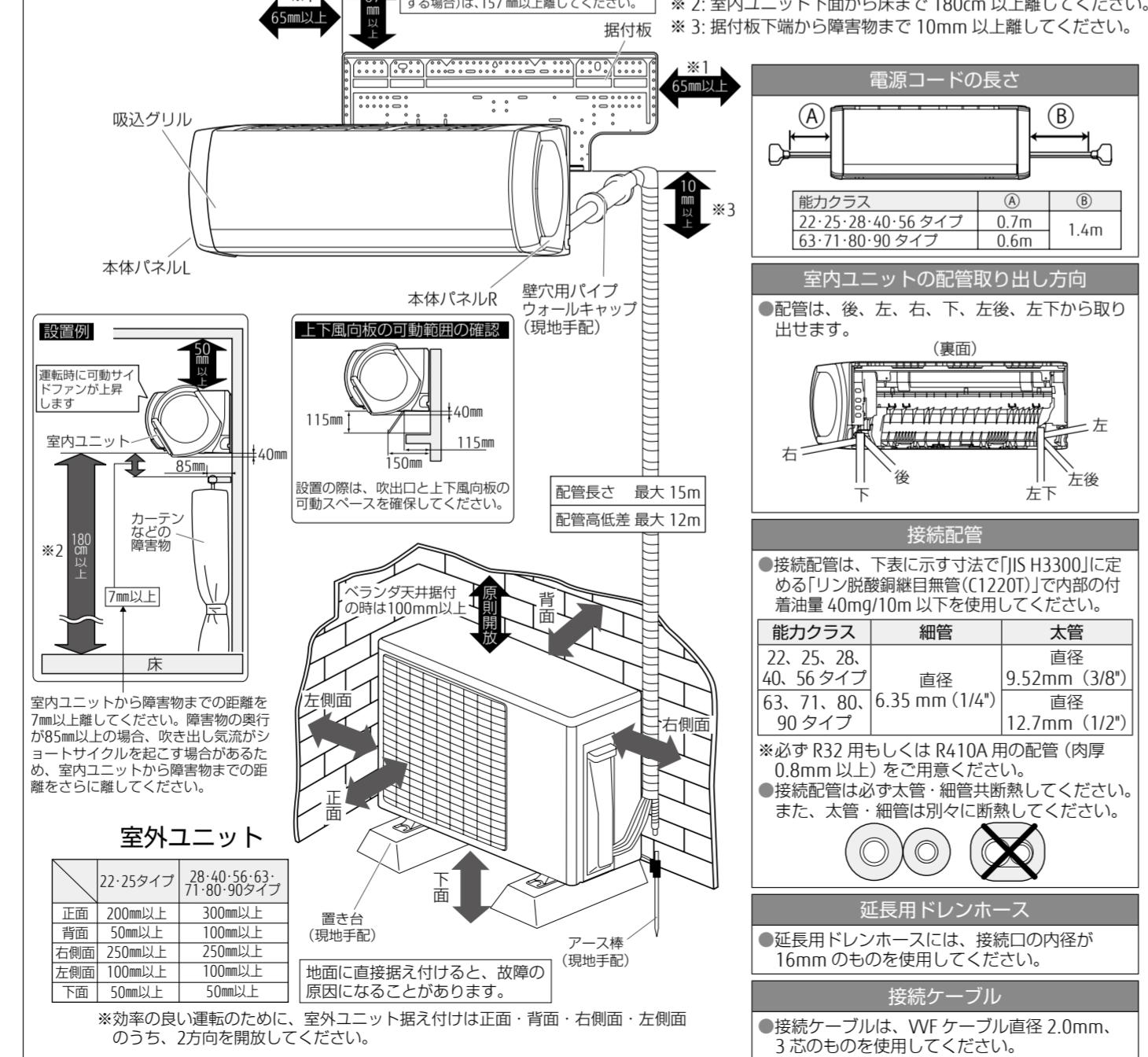
- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する(自分で据付工事をされ不備があると、水漏れがけ、感電、火災などの原因)
- 据付工事は、必ず付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に行う(室内内外ユニットの落し、水漏れ、けが、感電、火災などの原因)
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気する(冷媒が火気に触ると、有毒ガスが発生する原因)
- 配管、フレナット、工具は、冷媒R32用もしくはR410A用のものを使用する(冷媒R22用の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)
- フレナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける(フレナットの締め過ぎがあると、長期経過後フレナットが剥離、冷媒漏れの原因)漏れた冷媒が火気に触ると、有毒ガスが発生する原因)
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に確実に接続配管を取り付ける(接続配管が取り付けられておらず、かつサービスバルブが開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常に高圧となり、破裂、けがなどの原因)
- アース(接地)を確実に行う
アース工事は、販売店または専門業者に依頼する(アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。アースが不確実な場合は、感電の原因)
- ポンプダウン作業では、接続配管は必ず前に圧縮機を停止する(圧縮機を運転したまま、かつサービスバルブが開放状態で、接続配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常に高圧となり、破裂、けがなどの原因)
- ドレン排水管では、室内ユニットの重さに十分耐える所に確実に行う(据付工事に不備があると、室内ユニットの落しによるけがなどの原因)
- 周囲に熱源や火がないことを確認してから作業を行なう(冷媒が漏れ、熱源や火気などに触ると、有毒ガスが発生する原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する(電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災などの原因)
- 室内ユニット間の配線は、所定の接続ケーブル(VVFケーブル直径2.0mm)を使用し、確実に端子盤へ差し込むまた、端子盤に接続ケーブルからの無理な力が加わらないように、接続ケーブルを「配線押さえ」で確実に固定する(より線を使用したり、接続ケーブルの途中接続、差し込み・固定が確実な場合、故障や感電、火災などの原因)
- 漏電しゃ断器を取り付ける(漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因)

注意

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管路を(排水路が不確実な場合、屋内に浸水し、家財などをぬらす原因)
- 室内ユニットのアルミフィンに触らない(手を切る原因)
- 可燃性ガスが漏れるおそれのある所へは設置しない(瓦斯が漏れてエアコンの周囲にたまると、発火して火災などの原因)
- 室内ユニットの下にほかの電気製品や家財などを置かない(水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因)
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない(小動物が侵入して、内部の電気部品に触ると、故障や発煙、発火の原因)
- 漏電しゃ断器を取り付ける(漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因)

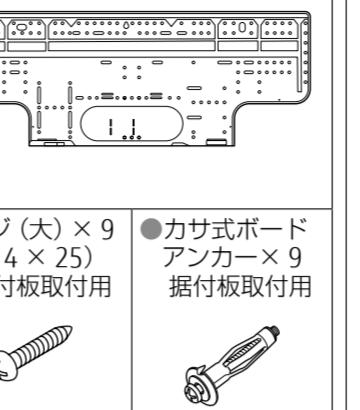
室内外ユニット据付図

室内ユニット



標準付属品

●据付板 × 1



●ネジ(大) × 9 (Φ 4 × 25)

●カサ式ボード

アンカーナー × 9

据付板取付用

●電気工事・アース工事は、電気工事士の資格を持っている人が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工する

電気工事に不備があると、感電や火災の原因になります。

●電源は必ず専用の分歧回路にし、専用のコンセントを設ける

能力クラス 電源 ヒューズおよびブレーカー定格

22・25・28・40・56・71・80・90・90 タイプ 単相 100V 15A 125V15A①

28 タイプ 20A 125V20A②

40・56・63・71・80・90 タイプ 20A 250V20A③

63・71・80・90 タイプ 250V20A④

電源回路の容量不足などがあると、火災の原因になります。

●電源コードの改造や延長はない

感電、火災の原因になります。

●漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電や火災の原因になります。

※印は、室外ユニットに同梱。

2. 穴あけ

①壁穴は、直徑65mmの穴を室外側に下りざみにあけます。(下図参照)

②壁穴用パイプは壁の厚さに合わせて切斷し、穴に挿入します。また、ウォールキャップを使用する場合は、壁穴用パイプを取り付けます。

③バネまたはコーキング材(現地手配)

※印は、室外ユニットに同梱。

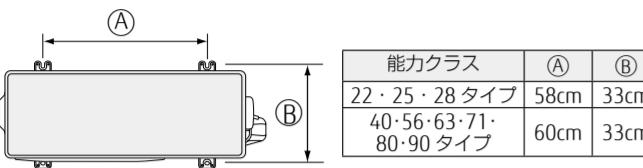
5. 室外ユニットの据え付け

- 騒音や振動が増大しないように、しっかりした台の上に据え付けてください。
- 地面に直接据え付けると、故障の原因になります。
- 転倒や落下、据付位置のずれがないように室外ユニットを固定してください。
- 振動が家庭に伝わるおそれのある場所では、防振ゴムなどの防振材（現地手配）を室外ユニットの下に介して据え付けてください。

△注意

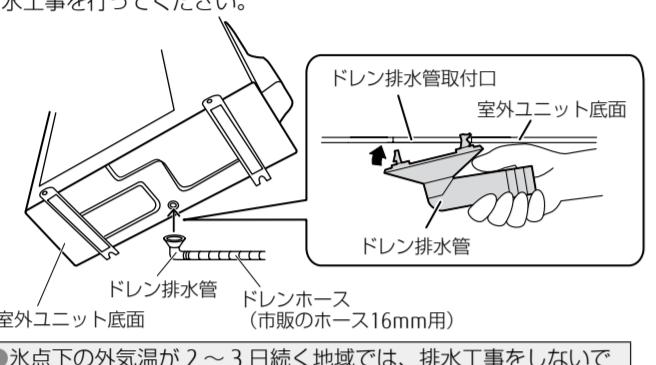
- 5°以上傾かないようにしてください。

室外ユニット取付穴位置



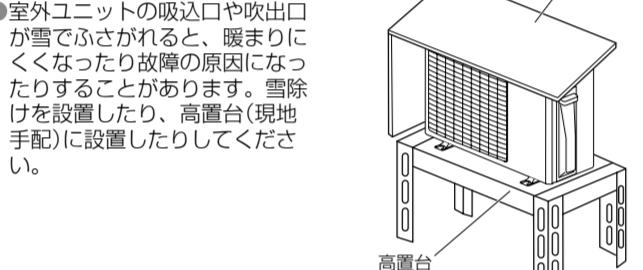
室外ユニットのドレン水の処理

- 暖房運転時は、室外ユニットから水が出ます。支障となる場合は排水工事を行ってください。



積雪が多い地域での設置

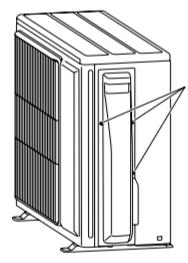
- 室外ユニットの吸込口や排水口が雪でふさがると、暖まりにくくなったり故障の原因になります。雪除けを設置したり、高置台（現地手配）に設置したりしてください。



6. 配線の接続（つづき）

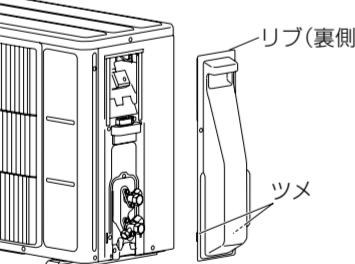
電装カバーのはずしかた・取り付けかた

- △はすしかた
- △ネジをはします。
- 電装カバーを下側に押し下げてから、手前に引いてはすします。



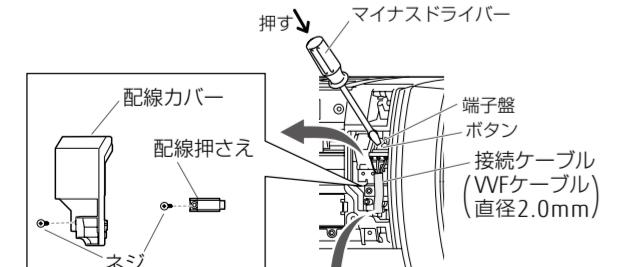
取り付けかた

- △電装カバーのツメ（2カ所）と上部のリブを挿入した後、上側に押し上げます。
- △ネジを取り付けます。



接続ケーブルの抜きかた

- △吸込グリルを開きます。
- △配線カバーをはします。
- △配線押さえをはします。
- △マイナスドライバーで端子盤のボタンを押しながら接続ケーブルを引き抜きます。



- △吸込グリルを開けます。
- △配線カバーをはします。
- △配線押さえをはします。
- △マイナスドライバーで端子盤のボタンを押しながら接続ケーブルを引き抜きます。



6. 配線の接続

△警告

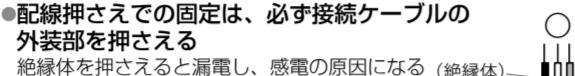
- △接続ケーブルはVVFケーブル直径2.0mm^{*}を使用する
より線は絶対に使用しない
- △端子盤への接続ケーブルの差し込みは確実に行う
差し込みが不確実ですと火災の原因になります。
- △接続ケーブルは必ず記線押さえで固定する
- △接続ケーブルを途中で接続しない
故障、感電、火災などの原因になります。

△注意

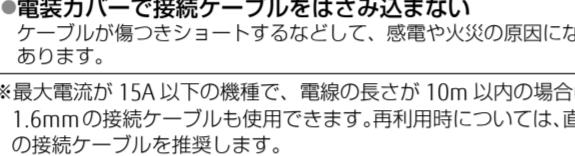
- △端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内ユニットと室外ユニットを合わせる
誤接線すると電気部品を破損することがあり、発煙、発火の原因になることがあります。



- △配線押さえでの固定は、必ず接続ケーブルの外装部を押さえ
絶縁体を押さえると漏電し、感電の原因になる（絶縁体）ことがあります。



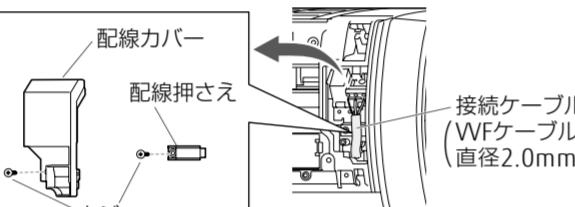
- △電装カバーで接続ケーブルをはさみ込まない
ケーブルが傷つきショートするなどして、感電や火災の原因になることがあります。



- △最大電流が15A以下の機種で、電線の長さが10m以内の場合は、直径1.6mmの接続ケーブルも使用できます。再利用時については、直径2.0mmの接続ケーブルを推奨します。

室内ユニットの配線

- △吸込グリルを開きます。
- △配線カバーをはします。
- △配線押さえをはします。
- △接続ケーブルを室内ユニット裏側から通します。



- △接続ケーブルを室内ユニット裏側から通します。
- △配線カバーをはします。
- △接続ケーブル（VVFケーブル 直径2.0mm）

- △接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。（ネジで固定してください）

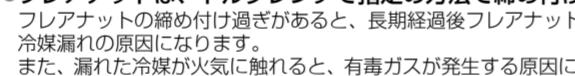
- △接続ケーブルは、上矢印印の範囲内で室外ユニット後方に出します。（接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。）

室外ユニットの配線

- △電装カバーをはします。（はすかたは、「電装カバーのはすかたを取り付けたかの項目を参照してください。）

- △室外ユニットの配線押さえをはします。

【より線使用禁止】



- △接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。

- △むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。

- △むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。

- △接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。（ネジで固定してください）

- △接続ケーブルは、上矢印印の範囲内で室外ユニット後方に出します。（接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。）

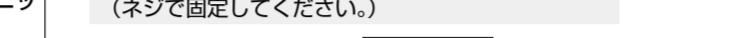
- △接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。

- △むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。

- △むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。



- △接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。（ネジで固定してください）



- △接続ケーブル（VVFケーブル 直径2.0mm）



- △接続ケーブルをネジで取り付けます。

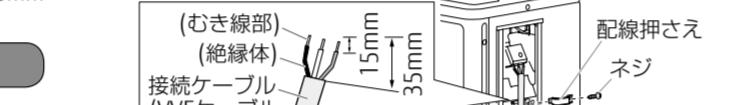
- △吸込グリルを閉じます。

室外ユニットの配線

- △電装カバーをはします。（はすかたは、「電装カバーのはすかたを取り付けたかの項目を参照してください。）

- △室外ユニットの配線押さえをはします。

【より線使用禁止】



- △接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。

- △むき出し部の芯線は、まっすぐにむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。

- △むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。

- △接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。（ネジで固定してください）

- △接続ケーブルは、上矢印印の範囲内で室外ユニット後方に出します。（接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。）

8. アース工事

△警告

- △必ずアース工事を行う

- △アース工事は、販売店または専門業者に依頼する

- △アースは、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不確実な場合は、感電の原因になります。

- △アースは内蔵されたインターバー（周波数変換装置）による誘導電気を吸収したり、テレビやラジオによるノイズを防止したりする効果があります。

接地の基準

- △接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件	エアコンの種類	アコの設置場所
対地電圧が150V以下の場合	100Vの機種 (単相3線式) 200Vの機種	水気のある場所、湿気のある場所に設置する場合 乾燥した場所に設置する場合
対地電圧が150Vをこえる場合	3相200Vの機種および 単相2線式 200Vの機種	漏電しゃ断器を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。

D種接地工事について

- △接地工事は、電気工事の資格を持つている人が行ってください。

- △地抵抗は、100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は、500Ω以下であることを確認してください。

（乾燥した場所に設置する場合）

- △地抵抗は、100Ω以下になるようにしてください。

（D種接地工事のしかた）

- △アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース用ネジは、室内・室外ユニットにあります。

（室外ユニット）

- △アース棒（現地手配）を取り付けてください。

- △アース線は配線押さえの中を通してください。

（室内ユニット）

- △単相200V機種の場合

- △室内の電源コードがアース付きになっています。

（単相100V機種の場合）

- △配線押さえをはすし、アース用ネジで直径1.6mm以上または断面積2.0mm²以上のアース線（現地手配）を取り付けてください。

- △アース線は室内ユニットから接続ケーブル用の穴を通して接続してください。

（アース棒の取り付けかた）

- △アース棒（現地手配）を取り付けてください。

- △アース棒（現地手配）を前後左右に動かして確認してください。

（アース線の取り付けかた）

- △アース線（現地手配）を取り付けてください。

- △接続ケーブル（VVFケーブル 直径2.0mm）

（アース線の接続について）

- △差し込みは確実ですか。

- △正しく接続されていますか。

- △確実に固定されていますか。

（アース線の取り付けかた）

- △アース線（現地手配）を取り付けてください。

- △アース棒（現地手配）を前後左右に動かして確認してください。

（アース棒の取り付けかた）

- △アース棒（現地手配）を取り付けてください。

- △アース棒（現地手配）を前後左右に動かして確認してください。

（アース線の接続について）

- △差し込みは確実ですか。